

多くの来場者で賑わう会場



軽トラの荷台から生まれる交流

◎第1回だんだん軽トラ朝市

11月23日、三島小学校グラウンドで「第1回だんだん軽トラ朝市」が開催されました。これは、毎年行われている農民祭の一環として、今年度から始められたもので、地域の人たちの協力により約10台の軽トラが集結。野菜や手作りの小物などさまざまな品物が、軽トラの荷台にずらりと並べられました。訪れた人たちは、一台一台お店を見て回りながら、買い物も満喫。また、お店の人たちとの会話を楽しみ、和やかな雰囲気の中、交流を深めていきました。

石斧を使った伐採に挑戦中



かつての姿、復元に向けてまた一步

◎興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト

「興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト」の検討会は11月22日、遺跡活用ひろばで行われました。今回で5回目となる本検討会では、10月に大洲市で、参加者らが実際に作成した石斧を使って、木の伐採に挑戦。手作りの石斧を使った初めての実践を行いました。石斧の感触を確かめながら、慎重に振り下ろす参加者ら。思っていた以上にすぐに壊れてしまう石斧に、新たな課題を感じながら、作業を進めていきました。検討会を重ね、課題を解決するたび、一步一步着実に完成へと近づいています。

等妙寺旧境内での説明に耳を傾ける



史跡に見る、この地に息づく功績

◎等妙寺ウォーキング

11月29日、「等妙寺ウォーキング」が開催され、町内外から過去最高となる約100人が参加しました。鬼北総合公園をスタートに始まった史跡までの道のり。参加者らは道中、地域の歴史や旧跡についての説明を受けながら、片道約4kmの道のりを歩き、昼食には近永婦人会の方々が作った豚汁に舌づつみを打ちました。また、旧等妙寺では、本史跡の象徴とも言える石積みを前に、参加者らは思わず感嘆の声をあげ、中世の技術に見入っていました。全てを見終えた参加者からは何度も「すごい」の声聞こえ、満足気な表情で帰路へ着いていました。

舞踊を披露する渡邊美好さん



地域が一体となって伝統継承

◎遺跡まつり

11月23日、泉小学校、泉公民館および岩谷遺跡公園を会場に「遺跡まつり」が開催されました。これは泉地区の伝統・文化を継承することを目的に、毎年開催されているもので、お祭りの始まりを前に、岩谷遺跡公園では、盛大な開催を祈願しての神事が執り行われました。会場内には、牛鬼面や俳句など、地域の人たちの力作が多数展示。また、午後からは泉小学校体育館のステージ上で、各芸能団体による芸能発表が行われ、日頃の練習の成果を発揮した熱演の数々が会場を盛り上げました。